

Wistar Han IGS ラット

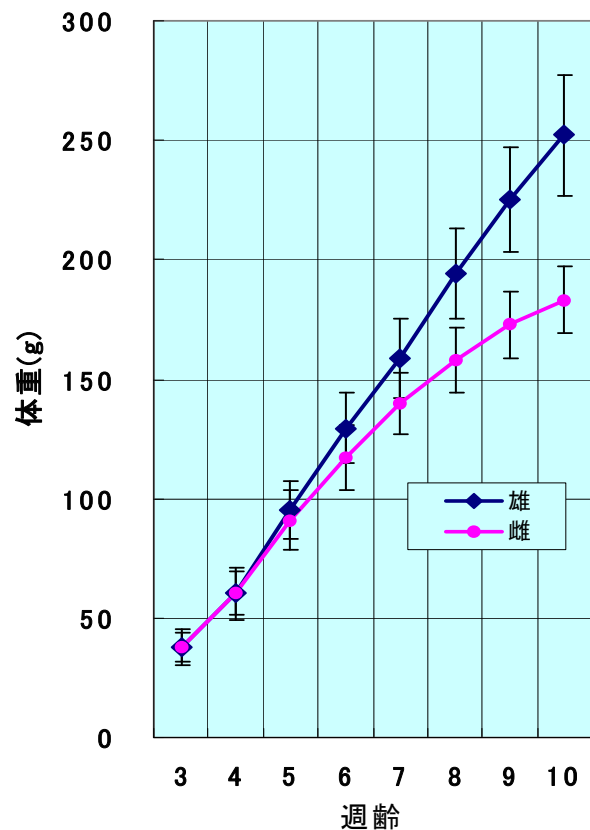
【国内生産供給再開のご案内】



由来

Biological Resource Laboratories により供給されたGlaxoWellcome社のWistar Hannoverに由来しています。1996年に英国チャールス・リバーに導入され、1997年には米国チャールス・リバーに移されました。その後、Foundation コロニーが確立され、IGS (International Genetic Standard) システムにて維持されています。米国チャールス・リバー社より新たに2007年に弊社に導入し、生産を再開しました。

系統名Crl:WI(Han)は通称Wistar Hannoverと呼ばれているクローズドコロニーのラットです。チャールス・リバーグループでは International Genetic Standard(以下IGS) システムで維持されており、日米欧の3極にて安全性分野をはじめとし、癌や老化などの幅広い分野にて使用されています。



※ 弊社飼育センター(2008年4-6月)にて実施した体重モニタリングデータです。

日本チャールス・リバー株式会社

カスタマーサポートセンター(受注窓口) TEL:045-474-9350 FAX:045-474-9351
カスタマーサポートセンター(東日本) TEL:045-474-9340 FAX:045-474-9341
カスタマーサポートセンター(西日本) TEL:072-637-8081 FAX:072-637-8082
web_order@crl.com

名称

系統名 Crl:WI(Han)

特徴

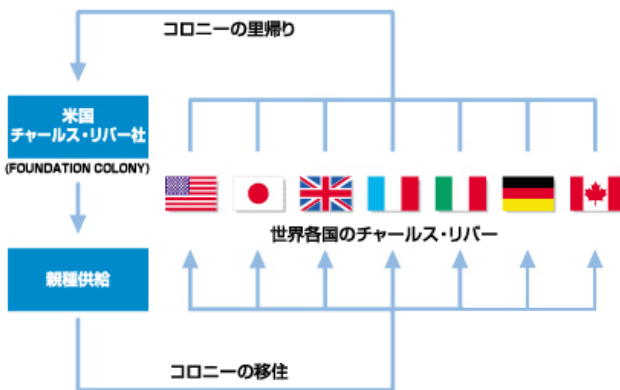
10週齢での体重がそれぞれ ♂:約250g、♀:約180g と小型です。(下記資料①より)

生存率は104週齢で75%程度です。(下記資料③より)

産仔数平均9-10匹/腹程度です。(Technical Bulletin Spring 1999より)

生産管理上の特徴

本系統はInternational Genetic Standard(以下IGS)生産システムにて生産されています。



チャールス・リバーグループは新薬開発の国際化に対応するために、全世界で、可能な限りばらつきのない遺伝的に均一な特性を持つ動物を生産することを目的にIGS システムを採用し、動物生産を行っています。

1) 米国チャールス・リバー社にFoundationコロニーを設置し、ここから世界各国のチャールス・リバーへ親種を供給します。

2) 近交化防止“循環方式”

クローズドコロニーでは、遺伝的多様性が求められます。IGSシステムでは、Foundationコロニーを基礎コロニーとし、3群循環方式(生産コロニー)を採用し、近交化を最小限に抑えています。

3) 生産コロニー間の遺伝的分岐を防ぐ“親種の相互移動”

各生産コロニーは、Foundationコロニーから定期的に親種の供給を受け、またFoundationコロニーへ定期的に親種を送ることにより、遺伝的分岐を最小限に抑えています。

また、低蛋白飼料CR-LPF(粗蛋白18%組成)を使用しています。

参照資料

以下情報を必要とされるお客様は下記お問い合わせ先にご連絡下さい。

- ① 国内体重モニタリング結果
- ② 微生物モニタリング検査結果
- ③ Spontaneous Neoplasms and Survival in Wistar Han Rats : Compilation of Control Group Data
- ④ Clinical Laboratory Parameters for Crl:WI(Han)

お問い合わせ先

日本チャールス・リバー株式会社

カスタマーサポートセンター(受注窓口) TEL:045-474-9350 FAX:045-474-9351
 カスタマーサポートセンター(東日本) TEL:045-474-9340 FAX:045-474-9341
 カスタマーサポートセンター(西日本) TEL:072-637-8081 FAX:072-637-8082
 web_order@crl.com

<http://www.crj.co.jp>